



人もまた浪が甘味に変はる秋 まだまだとわが胸中の吾亦紅 小三治のまくら身に入む夕べかな 茸狩みんな少しく変り者 窯変の力みなぎる豊の秋 瞬きの度に波打つ蕎麦の花 唐辛子漆光りに干し上がり コスモスや郷愁に色ありとせば 白鳥来着水にまづ風を捨て 「退出」をクリック俄に虫時雨 これ以上乾かぬ土偶金木屋 草の実や秘すほどに愛深まりて 障子洗ふ升目のやうな歳月よ 放ちたる思索の投網いわし雲 一本と呼ぶをためらふ鶏頭花	大畑 善昭 千田 百里 埴 誠一郎 辻 美奈子 内山 花葉 能美昌二郎 佐々木よし子 頓所 友枝 甲州 千草 栗原 公子 今瀬 一博 荒井千佐代 細川 洋子 稗田 寿明 鈴木 光影
草濡れて月白に待つ野外劇 秋ひと日母の子として過ごしけり 銀漢や包の真中に煙穴 断層は地球の皺よ牛蒡引く てんてんと秋の影つむ砂時計 黒葡萄ぶつかりながら許し合ひ 色鳥来みな禁制の色を持ち そこだけが咲きしづもれり吾亦紅 人にたましひ白桃に赤き種 幸せに気づくしあはせ万年青の実 火を熾す起源思はせ葉鶏頭 唐茄子に朴訥といふ重さあり 稲光り一瞬街は海の底 胸筋を真南に向け刺羽発つ 海原を刈る台風の刃かな	須賀ゆかり 兵藤 恵 平松うさぎ 本池美佐子 中村 重幸 小林 陽子 菊川 俊朗 栗坪 和子 朝長美智子 宮下 桂子 伊藤 照枝 金光 浩影 水谷 昭代 河寄 祐二 澤田 英紀

沖 の 水 脈

